

# 春日井民商だより

N0.1289 2011. 9. 5  
発行 春日井民主商工会  
春日井市ことぶき町183  
TEL 81-1482・FAX81-9756

## 8月27日・28日 愛商連幹部学校が開かれました

—全県から145名、春日井から10名が参加—

今回の幹部学校への参加者は県内から145名。「全商連60周年に向け、組織増勢でどう迎えるのか」ということを正面から考えることのできる場になりました。

春日井民商からは、10名が参加し1日目の愛商連三役からの講義に真剣に耳を傾け、2日目の分散会では、県内の民商の経験に学びあいました。

### 《参加者の感想です》

幹部学校では「全商連60周年記念集会の拡大運動」について主に話し合いました。拡大推進委員長である私は、2日目の分散会の中で商工新聞拡大依頼の行動のことを話しました。2支部が先週末から会員訪問をして新聞を2部拡大につなげているという話です。議論の中で印象的だったのは他民商の役員さんから「会員訪問をやったが商工新聞拡大依頼と署名が3つもあり1日に1件しか訪問できない」どうしたらよいかという内容でした。何か良い意見を参考にしたいとのことでしたので、私は「9月末までに目標を達成しなければいけないので、春日井ではとりあえず署名は10月からやるということで共済会の歯ブラシセットを活動袋に入れ、会員訪問で商工新聞拡大1本で訴えていくということを確認して行動しているので時間はあまりかからない」と話しました。

春日井民商でも悩みがありますが、他民商でも悩みがいっぱいあるなと思いました。今回の幹部学校は145名が出席したということで各民商の役員さんたちのこれからの活動に役にたてればよいなと思い帰路に着きました。(小松副会長)

「銀行の言いなりではなく交渉の必要性とそのためいかに学習が大切か再確認できた」「苦しい時ほど夫の支えになればと生涯現役、生涯学習を合言葉に二人三脚で頑張ろうと思えました」(福原婦人部副部長)

「民商にいて儲けることはできないかもしれないが、損はしないという藤栄愛商連副会長の言葉が印象的だった」「拡大にしても、支部・班活動をつくるためにも会員訪問が大切だとあらためて確認できた」(田中西支部支部長)

代表発言のなかで瀬戸旭民商の入会2年目で副会長をされているという役員さんが「自分が大変な時に助けてもらうだけでなく、人が大変な時にその人に寄り添い声を聞くことが大切だと思えるようになった」と発言されていました。とても印象的で、「やっぱり民商はあたたかい」「全会員が今は困ってなくてもいざ困ったときに声かけられる民商を広げることが大切」だと思いました。(太田事務局員)



引き続き東日本大震災支援募金にご協力ください!

### 春日井民商共済会総会

9月15日(木) 午後7時～  
春日井民商事務所2階

### 今年もバスハイクやいます

10月2日(日) 南木曾温泉を予定  
参加費 3,000円です

※共済会加入者のみ、未加入の方はこの機会にぜひ加入してください

詳しくはチラシをご覧ください

婦人部総会は9月25日(日)午後6時から  
会場 榮太郎です

### 9月11日(日)は 班長研修会に参加しよう!

今年は学習協の吉田豊さんを講師に、「元気が出る」「商売に意欲が持てる」お話しを午前、午後からは「秋の運動」のとりくみについて話し合う予定です。どなたでもご参加いただけます。多数ご参加ください

とき 9月11日(日)

午前10時～午後4時頃まで

ところ 総合体育館2階・中会議室  
昼食を準備します。参加される方は最寄りの役員または事務所まで(詳細はチラシ参照)



15日までの会費集金にご協力をお願いします 会計 山崎 孝亀